

(記載例)

様式 1 4

麻薬小売業者

麻薬管理者 業務届 (令和 年)

麻薬 研究者

令和 年 月 日

静岡県知事 様

麻薬業務所の所在地 浜松市〇区鴨江二丁目 11 番 2 号

麻薬業務所の名称 鴨江医科大学

免許証の番号 第〇〇〇〇〇〇号

住 所 浜松市〇区元城町 103 番地の 2

氏 名 鴨江太郎

麻薬研究者の個人名で
記入してください。

麻薬及び向精神薬取締法 ~~第 47 条~~
~~第 48 条~~ の規定により、次のとおり届け出ます。
第 49 条

品 名	前年の 10 月 1 日 (期初) の所有 (管理) の数量	前年の 10 月 1 日から本年の 9 月 30 日までの受払い数量		本年の 9 月 30 日 (期末) の所有 (管理) の数量	備 考
		受け入れ数量	払い出し数量		
アヘンチンキ	20ml	0	20ml	0	〇月〇日付麻薬廃棄届 により廃棄※1
塩酸コカイン末	1g	5g	0.6g	5.4g	
2%塩酸コカイン液 ※2	0	30ml	15ml	15ml	
塩酸モルヒネ 注射液	15A	30A	5A	40A	1A 事故届(破損) ※3
MS コンチン錠 10mg	30T	200T(24T) ※4	250T	4T	24 錠再利用※5
リン酸コデイン末	8g	0	2g	6g	
リン酸コデイン 10 倍散※2	0	20g	10.4g	9.6g	
以下余白					

注 1 品名はアイウエオ順に記載のこと。

2 同じ品名のもので含有量が異なれば、別品目として記載すること。

3 予製剤については原末に換算しないで、それぞれ別品目として記載すること。

4 届出書は 3 部作成し 2 部を業務所所在地を管轄する保健所に提出すること。(1 部は届出書の控)

※ 1 「麻薬廃棄届」により廃棄した麻薬の記載例

※ 2 自家予製剤の記載例(別品目として、欄を改めて記入する。)

※ 3 誤ってアンプルを破損させてしまった場合の記載例

※ 4 外来又は入院患者等から譲り受けた場合の記載例

※ 5 入院患者から譲り受けた麻薬を再利用した場合の記載例

麻薬業務届（年間報告）について

麻薬研究者は、毎年下記の事項について、県知事に報告しなければなりません。（麻薬・向精神薬取締法第49条）

- ①前年10月1日に所有していた麻薬の品名・数量
- ②前年10月1日から今年の9月30日までの間に、授受（購入、使用を含む）のあった麻薬の品名・数量
- ③今年の9月30日に所有していた麻薬の品名・数量

記載上の注意事項

- (1) 前年10月1日から今年の9月30日までの間に、麻薬を所有していなかった場合でも、「在庫なし」と記入して届け出てください。また、1年間使用しなかった麻薬についても届け出が必要です。
- (2) 「業務届」の記載は、同じ品名のものでも濃度（含有量）が異なれば、別品目として記載してください。
※自家予製剤の倍散、倍液は原末に換算することなく、それぞれ別品目として記載してください
- (3) 「受入れ」の欄には、購入しまたは譲り受けた麻薬の数量を記載してください。
- (4) 「備考欄」には、「麻薬廃棄届」により廃棄した麻薬及び事故のあった麻薬の数量を記載してください。
- (5) 「業務届」は個人名で記載してください。

※裏面の記載例も参考にしてください。